

海外安全対策情報（2015年4月～6月）

1 一般犯罪・凶悪犯罪

（1）盗難・強盗事件

○ヌオヤ県(Nmoya)：北部

5月27日午前1時頃、ウガンダ北部からカンパラへ向かっていたKKコーチバスが、カルマ・パクワチハイウェイ(Karuma-Pakwach road)のアヤゴ橋で軍服を着用した武装強盗に襲撃されました。強盗は、乗客40名から現金や携帯電話等100万シリング相当(約4万円)を強奪し逃走しました。

（2）殺人事件

○カンパラ県(Kampala)及びワキソ県(Wakiso)：中部

4月21日報道によると、夜間鉄パイプを所持した者から襲撃される事件が多発しており、警察は夜間の巡回を強化しました。警察報道官によると、撲殺された死体がほぼ毎日発見されているとのことで、その殆どがボダボダ運転手(バイクタクシー)や歩行者であるとのこと。また、ムラゴ病院には月120名ほどの負傷者が搬送されているとのことです。

○ワキソ県(Wakiso)：中部

4月26日、自宅で家族5人が夕食を摂っていたところ、面識のない者が自宅内に侵入し、家族に対して酸を掛け逃走しました。この事件により67歳男性が死亡、他4人は重傷を負いムラゴ病院へと搬送されました。

○ブシェニ県(Bushenyi)：西部

6月10日午後10時頃、17歳女性が学校から帰宅する際に強姦され、その後絞殺されました。

○カンパラ県(Kampala)、ワキソ県(Wakiso)、ムコノ県(Mukono)：中部

6月30日カンパラ中央警察によると、過去6ヶ月間にカンパラ県、ワキソ県及びムコノ県において190人の女性が強姦され、内96人が殺害されたと発表しました。

（3）強姦事件

邦人が被害に遭ったとの情報には接していませんが、ウガンダにおいて強姦事件は深刻な問題となっています。また、被害者となる女性の大半が未成年者であり、近親相姦も頻繁に発生しています。

○ネビ県(Nebbi)：北部

4月2日、21歳男性が20歳の女性を強姦し警察に逮捕されました。ネビ県警察署長は、同県での強姦事件が増加していることを懸念しています。

○ンピギ県(Mpigi) : 中部

6月14日報道によると、29歳男性が84歳祖母を強姦し警察に逮捕されました。男性は、本事件以外に20件以上余罪があるとして取り調べを受けています。

2 テロ・爆弾事件発生状況

テロ・爆弾事件は発生していません。しかし、ウガンダ政府は近隣国ソマリアの治安向上を目的にアフリカ連合ソマリアミッション(AMISOM)に自国軍を派遣し、ソマリア武装テロ組織「アル・シャバーブ」に対する掃討作戦に参加しています。このため、同組織はウガンダへの反発を強めており、しばしば当国を名指しで報復する旨発言していることから、引き続き注意する必要があります。

3 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人が誘拐・脅迫される事件は発生していません。しかし、近年ウガンダにおいて身代金を目的とした誘拐事件が発生しており、邦人が巻き込まれる可能性も否定できないため、滞在中は警戒を怠ることのないよう十分注意してください。

4 日本企業の安全に関わる諸問題

対日感情が良好なこともあり、日本企業であることを理由に標的とされる可能性は低いです。

以上